

FF用アンダーレイシート

転倒時の衝撃をやわらげる
東リファブリックフロア専用の下地材。
高齢者住宅やペット共生住宅に最適です。



FFUS6-10

品種	ファブリックフロア下地用シート	
価格 (税抜き価格)	20,000円/巻	2,000円/m
全厚	6mm	
幅×長さ	950mm×10m	
梱包	10m/巻 (出荷は巻単位となります。) 重量 12.8kg/巻	



工法

工法名	下地	接着剤	塗布量目安
一般工法	乾燥したモルタル・コンクリート下地	エコAR600	300g/㎡
耐湿工法	湿気のおそれのある モルタル・コンクリート下地	USセメント	360g/㎡

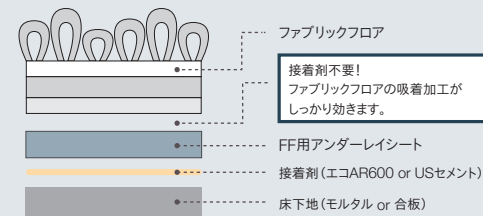
- 巻き癖が強く残っている場合は巻き癖を直してから施工して下さい。
- 施工の際は、東リマークが印刷されている面を表面(仕上げ材側)として施工して下さい。
- 巻き反の一部にジョイント部分が出てくる場合がありますが、品質及び施工には問題ありません。
- アンダーレイシートの長さ方向は突付け施工して下さい。
- FF用アンダーレイシートの敷込みはリバース施工を原則とします。
- アンダーレイシート施工後は圧着時間内にローラーがけを行い、エアーやシワを除いて下さい。
- 表面が変色する場合がありますが、性能に影響はありません。

<ご注意>

- 家具などの重量物を置く際は、へこみ跡が残りますので敷板などで荷重を分散させるようにして下さい。
- 巻きの中心部は、巻き癖がとれにくい場合があります。ご了承下さい。
- 東リファブリックフロア専用アンダーレイシートです。(テキスタイルフロア7000涼織を除く。)塩ビタイル、塩ビシート、ファブテックタイル 耐湿クッションパッキング(48頁)、テキスタイルフロア7000 涼織(182頁)、プライムクラス(144頁)、ソフトラックプラス(93頁)は上材として使用できません。

※FF用アンダーレイシートは、構造に関する特許を取得しています。

施工断面 イメージ



FF用アンダーレイシートを下地に施工すれば、
ファブリックフロアは従来通り置き敷きで使えます。

遮音性に優れます

東リファブリックフロアをFF用アンダーレイシートへ施工した場合、フローリング上の置き敷きと比べて
△LL値がランクアップします。

	東リファブリックフロア単体		FF用アンダーレイシート(6mm厚)	
	△LL等級	推定L値(従来法)	△LL等級	推定L値(従来法)
アタック270 キャンバスファイン	△LL(I)-3	L50	△LL(I)-4	L45
アタック350 リップルバレット	△LL(I)-4	L45	△LL(I)-5	L40
スクエア2400 ソフレ	△LL(I)-2	L55	△LL(I)-4	L45
パネルカーペットシリーズ	△LL(I)-3	L50	△LL(I)-4	L45

(注) 推定L値(従来法)は、一般には上記のような換算となりますが、製品によってはずれる場合があるので、詳細は測定が必要です。

衝撃吸収性に優れます

東リファブリックフロアをFF用アンダーレイシートへ施工した場合、フローリング上の置き敷きと比べて
G値(m/s²) (衝撃吸収性)が20~25%下がります。
※衝撃吸収性(G値(m/s²))は、数値が小さいほど衝撃力が弱く、転倒時の安全性が高い事を示します。

	フローリング上の置き敷き		FF用アンダーレイシート(6mm厚)	
	G値	m/s ²	G値	m/s ²
アタック270 キャンバスファイン	105	1029	74	725
アタック350 リップルバレット	101	990	74	725
スクエア2400 ソフレ	98	960	77	755
パネルカーペットシリーズ	102	1000	74	725

衝撃吸収性試験
加速度計を取付けた頭部モデル(3.85kg)を、所定の高さ(20±1cm)から床面に落下させ、床に衝突したときの加速度を測定し、転倒衝突時の硬さを求めます。

止水性能に優れます

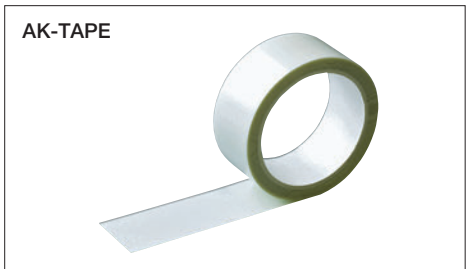
FF用アンダーレイシートの表面フィルム層により、日常生活における建物躯体に対する止水性能に優れます。

※データは特記のない場合はすべて社内データです。
数値は試験値であり、保証値ではありません。

固定用シール・テープ



固定用シール
AKシール 15,000円/ケース(税抜き価格)
10cm×10cm 100枚/ケース(10枚/袋×10)
取引単位 ケース単位



固定用テープ
AKテープ 12,000円/ケース(税抜き価格)
幅4cm×3m巻 10巻/ケース
取引単位 ケース単位

●ご注文について：色見本の下の品番にてご用命下さい。

<ご注意>

- AKシール、AKテープを外した後の下地(フローリング等)が滑りやすくなったり、吸着材が下地に付着する事があります。下地床材用の中性洗剤を染込ませた雑巾(マイクロファイバー製が有効)でよく拭き、その後、洗剤の拭取りをする事で軽減されます。
- フローリングの種類によっては吸着しにくい場合があるため、事前にサンプルにてお確かめいただく事をおすすめします。
- ワックスやコーティング剤が塗布された床材上への使用の場合、AKシール、AKテープ裏面に加工されている吸着材の跡が一時的に床材の表面に残る事がありますが、時間の経過とともに消えます。(ワックスの種類によっては取れにくい場合があります。)